

## シラバス (授業計画)

授業科目名	入学年度	開講学年・学期	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論Ⅳ	共通	1・2 学年後期	選択	2 単位	丹羽 崇之
<p>準備学習の内容 (履修の前提条件)</p> <p>簿記・会計の知識が不可欠である。 租税法の基本を理解しておくこと。</p>					
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>相続税法、徴収法、租税争訟法、租税処罰法について学ぶ。報告、討論及びレポート作成等により、租税法の知識、考え方を身に付ける。</p>					
<p>授業の概要</p> <p>授業の該当テーマについて、金子宏『租税法 [第 22 版]』を精読し、法令・判例等の理解を深める。 各テーマについてかなり速いスピードで授業が進められる。授業 1 回当たりのボリュームも多いため、相当の準備が不可欠である。</p>					
<p>授業計画</p> <p>第 1 回 相続税 (1) 総説、相続税の種類、納税義務者</p> <p>第 2 回 相続税 (2) 課税物件、税負担の不当な減少の防止</p> <p>第 3 回 相続税 (3) 課税標準と税額</p> <p>第 4 回 贈与税</p> <p>第 5 回 財産の評価</p> <p>第 6 回 事業承継税制</p> <p>第 7 回 固定資産税・地価税</p> <p>第 8 回 租税徴収手続 (1) 納付と徴収①</p> <p>第 9 回 租税徴収手続 (2) 納付と徴収②</p> <p>第 10 回 租税徴収手続 (3) 滞納処分①</p> <p>第 11 回 租税徴収手続 (4) 滞納処分②</p> <p>第 12 回 租税徴収手続 (5) 滞納処分③</p> <p>第 13 回 租税争訟法 (1) 租税不服申立</p> <p>第 14 回 租税争訟法 (2) 租税訴訟</p> <p>第 15 回 租税処罰法</p> <p>第 16 回 定期試験等</p>					
<p>テキスト</p> <p>金子宏『租税法 [第 22 版]』(弘文堂) 『実務税法六法』(新日本法規出版) または『税務六法』(ぎょうせい) 川田剛『租税法入門』(大蔵財務協会) 税務大学校講本『相続税法 (基礎編)』『国税通則法 (基礎編)』『国税徴収法 (基礎編)』</p>					
<p>参考書・参考文献・参考資料等</p> <p>伊藤義一『税法の読み方 判例の見方 [改訂第 3 版]』(TKC 出版) 中里実他編『租税判例百選 [第 6 版]』別冊ジュリスト (有斐閣) 山下信友・宇賀克也編『ポケット六法』(有斐閣)</p>					
<p>成績評価の方法・基準</p> <p>授業への取り組み状況 (事前・事後の学習状況等)、授業での発言状況、提出物等の結果を総合勘案して評価する。</p>					